

2006年度第1回 第22期理事会 議事録

日時：2006年5月20日（土） 13:00から

会場：上智大学 四谷キャンパス 7号館12階第4会議室

出席者：須藤、大塚、小田、春日、スチュアート、瀬川、関、田中、棚橋、富沢、永淵、森山、山本、吉岡、和崎

委任状提出：上杉、窪田、栗本、松岡、松田、三尾

〔承認事項〕

1. 前回（2006年度新旧合同）理事会議事録

〔報告事項〕

1. 庶務理事報告
 - ・新入会員（8名）、再入会員（1名）につき、総務会で入会を承認したことを報告。
2. 会計理事報告
 - ・平成18年度文部科学省科研費の交付申請書を期限までに提出したことを報告。
 - ・各地区研究懇談会担当理事への経費補助の振込について口座開設した地区から順次振り込んでいること、また各地区研究懇談会における領収書の宛名は「日本文化人類学会」とすることを説明。
3. 総務理事報告
 - ・人類学関連学会協議会が11月に高知工科大学で開催の日本人類学会研究大会において協議会主催のシンポジウムを開催することが決まり、本学会の代表として会員の川田順造氏がシンポジウムに出席すること、川田氏には既に了承を頂いている旨を報告。なお、これに伴う予算措置については、今後協議会での検討を待って対応することを確認した。
4. 広報理事報告
 - ・学会サーバーの現状報告と、しばらくの間、地区研究懇談会の情報は広報・情報化委員の赤堀理事に直接メール送信を行うよう依頼があった。
5. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：学会賞授賞記念論文の掲載について、書式等を検討した結果、枚数・書式は論文に準ずること、査読は行わないこと、コメント論文は掲載しないこととしたことを報告。意見交換の結果、キーワード、日本語サマリーを付けるかどうかは編集委員会で再度検討することとした。寄稿依頼は編集委員会で内容を検討した上で会長が行うこととした。また、書評副主任の役を設け土佐桂子氏が書評副主任となることを報告。
 - ・JRCA編集委員会：委員構成について現在検討中であることを報告。
 - ・社会調査士標準カリキュラム検討委員会：3回開催された委員会をうけて作成された中間報告書をもとに説明。特に、現在の社会調査士資格標準カリキュラムについて説明した上で、今後の目標として社会学で言う質的調査と文化人類学のフィールドワークが内容的に違うものであることを認定機構に理解してもらい、現在の量的調査／質的調査の2分法に替えて、量的調査／質的調査／人類学フィールドワークの3分法で標準カリキュラムを構成してもらうよう要請することなどが検討されていることを報告。それについて意見の交換がなされ、質的調査とフィールドワークを異なるものとするより、質的調査を人類学的フィールドワークへとシフトさせる戦略もあるのではなどの意見が出た。理事会で出された意見は委員会に報告することとし、また、次回委員会は6月23日に開催予定であることから、意見がある場合にはそれまでに森山理事まで連絡するよう依頼があった。

〔審議事項〕

1. 2006年度事業案の策定について
 - ・修正箇所について説明。特に公開シンポジウム開催のため文部科学省科研費研究成果公開発表Bへの応募と学術機関リポジトリへの対応について説明がなされた。修正等があれば小田庶務担当理事へ連絡し、次回の理事会で最終案を確認することとした。
2. 2006年度予算案の策定について
 - ・修正箇所について確認を行い、修正等があれば棚橋会計担当理事へ連絡し、次回の理事会で最終案を確認することとした。
3. 名誉会員候補者の理事会推薦について
 - ・内規（第2条1項）による該当者がいないこと、内規（第2条3項）による候補者提案は第21期、第22期理事会による候補者の提案が期限までにないことを報告した上で、2006年度は候補者なしとすることを確認した。
4. 名誉会員に関する内規の改正について
 - ・森山前庶務担当理事より資料に基づいて改正案と改正の趣旨を説明、確認の上、改正案を承認。評議員会へ諮ることとした。
5. 各委員会の構成、特別委員会の設置について
 - ・広報・情報化委員会と学会誌編集委員会の理事外委員と、英文論集編集委員会の設置及び各委員の構成を承認した。
 - ・特別委員会として、『文化人類学中事典』編集委員会と英文論集編集委員会の設置及び各委員の構成を承認した。
 - ・委員の任期について意見交換がなされ、編集委員会では同一人物に委員が偏らないよう、任期、再任の年限があった方がよいのではないか、との意見が出された。この件については編集委員会で検討することとした。
 - ・地区研究懇談会担当委員長を設定しないことを確認、事業計画（案）中の地区研究懇談会の記載について意見交換がなされ、総務会で検討することとした。
6. 学会賞選考委員（理事外2名）の選定について
 - ・小田理事より、学会賞選考委員会から候補者として池田光徳氏（大阪大）と関根康正氏（日本女子大）が推薦され、内諾も得ていることから、総務会でも「前回の選考委員の所属機関とは異なる所属機関の委員が望ましい」という方針に合致していることで承認したことを報告、承認された。任期については2006年6月1日から2007年5月31日までとし、再任を妨げないという規則を確認。議論の上、委嘱を毎年行い、理事の委員は2年間は引き続きその任についてもらうこと、理事外委員は1年毎の選考を原則とするが、再任を妨げないとの方針を確認した。
 - ・学会奨励賞と学会賞の委員を別々に設けることについて今年度中に総務会で検討の上提案することとした。
7. その他
 - ・山本理事より、国立情報学研究所からNII-ELS登録雑誌の書誌情報、キーワード、抄録を無料一般公開することについて回答依頼があったことを説明、承諾することを承認した。
 - ・山本理事より、評議員メーリングリストのアドレスが”board”となっているが次期作成時には”council”とすることを指摘して欲しいとの意見が出された。
 - ・事務局で把握している物故会員について理事のメーリングリストで配信するので情報を寄せるよう依頼。
 - ・次回理事会と評議員会は6月3日（土）に開催することとした。